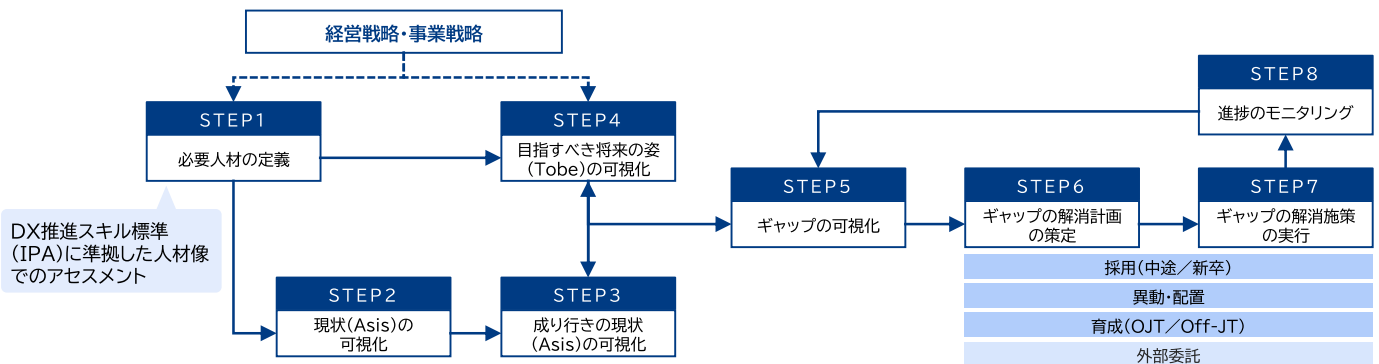


デジタル・DX人材 Asis-Tobe可視化サービス

サービスの特徴

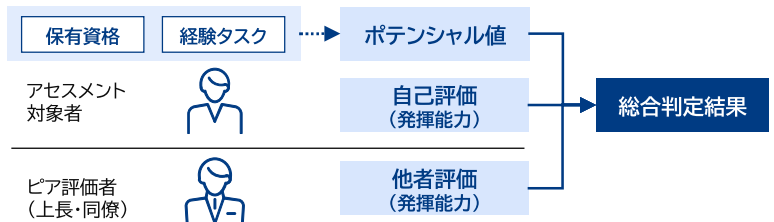
#1 経営戦略実現に必要な人材戦略策定の基盤を提供

- 急激な環境変化に適応するため、業界を問わず「デジタル」「DX」による対応が求められています。一方で専門技術人材(デジタル人材等)の外部採用は、今後ますます困難になります。
- 加えて人的資本経営が着目される中、経営戦略の実現上重要となるデジタル・DX人材の確保に向けた、人材戦略策定・実践にあたっての共通基盤をご提供します。



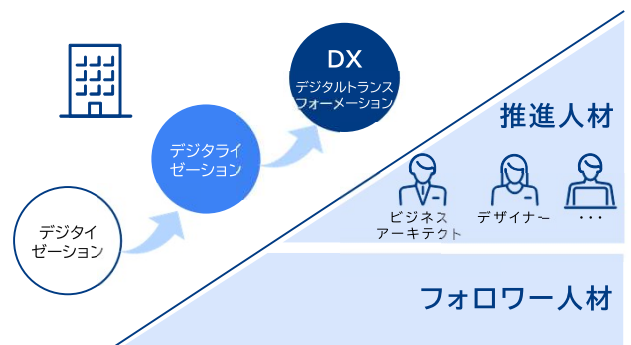
#2 業務知見+デジタル能力(リスキル)を重視してDXを実現

- 社内でDXを推進する人材に求められるのは、自社の事業・業務に対する深い知見を前提に、デジタルで何ができるかを学び応用・変革をリードすることです。
- MRIのAsisの可視化(アセスメント)では、関連するタスク(非デジタル含む)の経験値からデジタル人材としてのポテンシャルを推定することで、社内の隠れた適材の発掘も可能です。
- また、DXでは実践力が重要であることから、ポテンシャルに加え、**発揮能力**ベースの評価(自己評価・ピア評価)を組み合わせたアセスメントを実施します。



#3 戦略実現に必要なコア人材とフォロワー人材を確保・育成

- DXはもちろん、依然多くの企業の課題であるデジタルライゼーション、デジタイゼーションの推進人材確保・育成が重要です。また、それら変革を現場で実践していくためのリテラシーやマインドを備えたフォロワー人材の存在も必要です。
- そのため、**組織全体のAsis-Tobe可視化**が有効です。MRIのアセスメントでは標準形を活用することで**最短一ヶ月**で組織としてのAsis可視化が可能です。



サービス内容

人材ポートフォリオの最適化に向けて、目指すべき将来の姿(Tobe)および現在の姿(Asis)の可視化・KPI設定、さらにはAsis-Tobeギャップの解消に向けた計画立案、PDCAサイクル構築をご支援します。

STEP1 必要人材像の定義

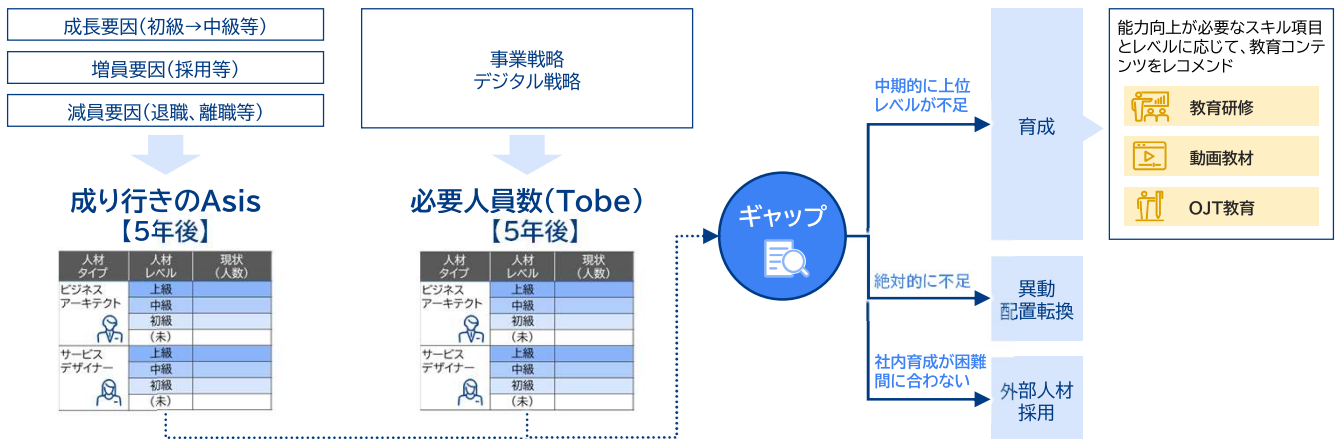
ビジネスアーキテクト			デザイナー			データサイエンティスト			ソフトウェアエンジニア			サイバーセキュリティ		
ビジネスアーキテクト (新規事業開発)	ビジネスアーキテクト (既存事業の高度化)	ビジネスアーキテクト (社内業務の高度化・効率化)	サービスデザイナー	UI/UXデザイナー	グラフィックデザイナー	データビジネスストラテジスト	データサイエンスプロフェッショナル	データエンジニア	フロントエンドエンジニア	バックエンドエンジニア	クラウドエンジニア/SRE	フィジカルコンピューティングエンジニア	サイバーセキュリティマネージャー	サイバーセキュリティエンジニア

IPA デジタルスキル標準 ver.1.0

STEP2 現状(Asis)の見える化



STEP3 成り行き現状(Asis)の可視化 → STEP4 目指すべき将来の姿(Tobe)の可視化 → STEP5 ギャップの可視化 → STEP6 ギャップ解消計画の策定



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所
人材・キャリア事業本部
政策・戦略グループ

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
service@mri.co.jp
03-6858-3493